

豊松協働支援センターだより・“結い”

〜〜 笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり 〜

令和4年1月17日
豊松協働支援
センター発行
第52号



豊松協働支援センター



センター長 上睦二
皆様におかれましては、コロナ禍の中ではありますが、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、センターの運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年当初から新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで経験したことのない制限等の対策がなされてきました。
昨年末には、新たな変異株も現れておりますが、これまでと同様の感染予防対策を講じながら、乗り越えなければなりません。一日も早いコロナの終息と平常の生活に戻れることを願っております。

さて、センターの事業もコロナの影響を受けながら最小限の活動を余儀なくされました。中でも住民の皆さんによる手作りの「こよまる公園」の更なる進化を求めて、豊松小学校児童自らの提案を神石高原中学校豊松出身の生徒さん、地元有志の方々との全面的な協力を受けながら、階段、花壇、看板を設置して頂きました。これこそ住民が当事者意識をもって一体となって行う「笑顔で暮らせる持続可能な地域づくり」の源であると感謝に堪えません。

本年も豊松地区の持続に向け業務を行って参りますので、ご指導とご協力をお願いいたします。



上豊松自治振興会
会長 藤原茂



新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えられました事と心からお慶び申し上げます。
上豊松自治振興会では昨年一昨年から続いております新型コロナウイルス感染症拡大の影響で計画しておりました行事の大半を中止せざるを得ない状況となりました。

こうした中ではありましたが、12月には各戸へ活動支援として応援グッズ（選択制）の配布を決定したところでです。
11月には一足早くその年の話題を題材にしたイルミネーションをコミセン前に設置しました。今回は、コロナに負けない様に願いを込め、観音様と干支（寅）を描きました。
コロナは終息していませんが、以前と比較すると減少傾向にあり、自治振興会の今後の行事もコロナ対策を充分整え、皆様のご協力により実施したいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

新年明けましておめでとうございます。町内の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。
昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令された事により、各種の活動行事が中止となる中、12月4日の青年会豊松支部による冬のサプライズ花火は大変感動しました。皆様方も元気をもらえたと思っております。幸いコロナウイルスも終息傾向にあり、今年は今まで通りの行事が戻ってくることを願っています。



下豊松振興会
会長 三原秀樹



最後に、今年一年皆様方が健康で活躍されます様御祈念申し上げ、年頭の挨拶に代えさせていただきます。



笹尾振興会
会長 坂井辰正



新年明けましておめでとございます。昨年中は色々とお世話になり、ありがとうございます。今年こそ、コロナ禍が終息すると思われた様な気がしましたが、新型のオミクロン株が取りざたされており、流行せず早く終息してほしいと思っております。

さて、笹尾地区も戦後は戸数が130戸ありました。令和4年では56戸まで減少、人口は戦後は1戸当たり6・7人、今では2・3人位まで減少し、過疎化が進み、10年後の事を思うと気が遠くなりますが、頑張って生まれ育った笹尾地区を引っ張っていかねばいけません。
今居る人で健康で元気に、そして皆様と楽しく老後を過ごせば良いと思っております。
最後になりましたが、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。



有木自治振興会
会長 西本伸廣



新年を迎え謹んで慶びを申し上げます。本年も昨年同様よろしくお願いたします。
さて、人口減少や少子高齢化は深刻な地域課題となっており、今後、どのような取組みができるか「豊松むらづくり計画」により協議を重ねているところであります。

有木地域だけでなく豊松地区の課題解決に向けた取組みを皆様とともに共有することは、とても大切なことです。
自分たちの地域は、自分たちで知恵を出し合い、盛り上げていくことが、協働のまちづくりにつながるものと確信しています。

感染症対策を緩めることなく、前向きな日々をめざすために、格段のご理解とご協力をお願いして新年の言葉といたします。

支所改修状況(1/1 時点)

1階の南側（支所の仮事務室）



2階の南側（改装後の調理室）



支所の旧事務室は改装中です。次回の結い53号で事務所内の配置等をお知らせします。当センターは1階奥側となります。

わっ、てっかい大根(7kg)!!



生産者は石田愛子さんです。



なんと…重量7kg!

感動の花火打ち上げ(12月4日)

青年会豊松支部提供



ロードレース(11月30日)

「豊松小学校ロードレース大会」は、町中を疾走しました。走りは緩やかな上り坂もあり、苦しい息づかいの間こえる場面もありましたが、全員完走!最後まで元気に走り切りました。一生懸命走る姿はカッコいいです。また、地域の皆さんから、たくさんの暖かい応援も子どもたちの力になりました。ありがとうございました。



facebook

●門松設置完了・下豊松振興会

巨大門松完成! 下豊松振興会では例年竹の切り出しを行い、笑顔を作って組み立て作業に入ります。今年は特に初雪の寒い中、コロナ退散と輝かしい新春を迎えて頂きたく役員一同頑張りました。場所はハイパス入り口にあります。



【人物紹介】楠見甚平・由希さん夫妻

富山北警察署豊松駐在所勤務 下豊松在住

皆さんこんにちは。私は、昨年の春豊松駐在所へ赴任した楠見甚平です。家族は、妻の由希(ゆき)と長女の芽唯(めい)、長男の海慈(かいじ)、次女の相愛(かなな)です。

豊松に来て、早いもので約10ヶ月が経ちました。今感じていることは、豊松の方の人の良さです。右も左も分からない私達に、皆さん本当に親切にして下さっています。

私も皆さんに恩返しが出来ようという気持ちと頑張りますので、これからもよろしくお願ひします。私達家族の顔を見た時は声を掛けて下さい。



【クイズでいっぷく】

Q ワシ(鷲)とタカ(鷹)の違いは?



A 実は同じタカ科の鳥の間で、大きい方をワシ、小さい方をタカと区別している。翼を広げるとワシは2m、タカは1m前後と明らかに大きさの違いがわかる。

【情報提供】タバコ病と喫煙関連の諸問題

中国労働衛生協会理事 宮田明先生

11月25日の保健委員研修会で、尾道市民病院長などを歴任された神石郡友会に開わりのある宮田先生から、タバコの喫煙が及ぼす病気や関連死などについてお話をされました。

昔は寿命が短く、タバコ病になる前に他の病気で亡くなっていたが、現代では平均寿命が延びて喫煙者がタバコ病になることが判明した。死因も変化し、脳血管障害、心筋梗塞、がん等はタバコ病として顕在化するようになってきた。日本ではタバコが原因で10人に一人の割合で命が奪われている。タバコの煙害ビック3

「タール」健康な細胞をガン細胞に変化させ、増殖させる。

「二酸化炭素」細胞が酸素不足になり心臓に負担、動脈硬化、血管壁を傷つける。

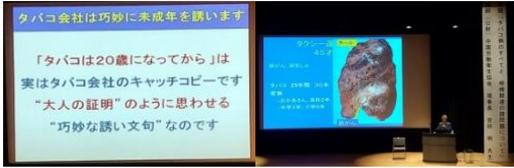
「ニコチン」血管を収縮させ血圧が上昇、動脈硬化、強い依存症(脳の病気)

喫煙者は新型コロナにかかりやすく、重症化しやすい。

しかし、「吸わなければタバコ病にならない、やめれば健康に戻る。(寿命が延びる。)」と力説されています。

喫煙者の皆さん、これをきっかけに

タバコ病を克服してはいかがですか。



当面の行事(2月・3月)

●男の料理教室

2月1日(火)午前9時半から 献立・煮込みハンバーグ他 参加費・未定(材料代)

手作りみそ体験教室
~日本の大切な発酵食品味噌を手作りしましょう!~

日時 2022年2月12日(土)13:30~17:00
場所 寺谷(米山)集会場(松源院の東側)
参加材料費 2000円前後
持参物 エプロン、三角巾、マスク
講師 井上美代子さん
「とよまつ米山みそ」を販売されています
参加人数 10人程度
申込み 豊松協働支援センター ☎84-2226

寺谷集会場の地図です。

※ 行の最寄り駅は、センターの南へ徒歩10分

●花アレンジメント教室

3月5日(土)午後1時半から 作品・寄せ植え

●ものづくり教室

3月12日(土)午後2時から 作品・未定

●豊松小学校サポート会

2月17日(木)午後1時10分
3月3日(木)午後1時10分
持参物・シューズ・マスク

【悩みの相談窓口】

コロナに感染かも
電話 082-513-2567
こころの悩み
電話 082-221-4343
訪問販売、勧誘電話
電話 0847-89-3088
生活困窮など
電話 0847-89-3335
3密を避けよう!

●申込み・お問い合わせは 豊松協働支援センター 【電話 0847(84)2226】



フェイスブック



ホームページ 見てね♥